

## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年11月11日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社マルタイ

コード番号 2919

URL <http://www.marutai.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 見藤 史朗

問合せ先責任者（役職名） 取締役経理部長（氏名） 松岡 悦雄

TEL 092-807-0711

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年3月期第2四半期の業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

#### （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	3,868	△1.1	460	△17.2	479	△15.5	321	△1.3
2021年3月期第2四半期	3,909	—	555	—	567	—	326	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	168.48	—
2021年3月期第2四半期	170.74	—

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、2021年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。これにより、2021年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	13,058	8,907	68.2
2021年3月期	11,018	8,701	79.0

（参考）自己資本 2022年3月期第2四半期 8,907百万円 2021年3月期 8,701百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期 （予想）	—	—	—	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,440	△4.6	630	△35.5	650	△35.1	420	△34.3	219.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しております。上記の業績予想は当該会計基準等適用後の金額となっており、対前期増減率は当該会計基準等を遡って適用した後の数値で比較を行っております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	1,922,000株	2021年3月期	1,922,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2022年3月期2Q	11,200株	2021年3月期	11,200株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	1,910,800株	2021年3月期2Q	1,910,837株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(セグメント情報) .....	6
3. 補足情報 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出などにより厳しい状況が続いております。新型コロナウイルスのワクチン接種が本格化し、その効果が期待されるものの、変異株の流行などもあり未だ予断を許さない状況が続きました。

食品業界におきましては、一定の内食需要が続いているものの、小麦を始めとする原材料価格の上昇など、経営環境は一層厳しさを増してきております。

このような状況の中で、当社では主力製品である棒ラーメンや皿うどんの販売に注力し、新型コロナウイルス感染症拡大前と比べ販売は堅調に増加しておりますが、前期の急激な巣ごもり需要増の反動もあり、売上高は3,868百万円(前年同四半期比1.1%減)、営業利益は460百万円(前年同四半期比17.2%減)、経常利益は479百万円(前年同四半期比15.5%減)、四半期純利益は321百万円(前年同四半期比1.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ2,040百万円増加しました。これは主に有価証券が1,000百万円減少したものの、現金及び預金が1,828百万円、建設仮勘定が1,422百万円増加したこと等によるものであります。

また、負債は、前事業年度末に比べ1,834百万円増加しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金が1,976百万円増加したこと等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年5月11日に公表しました業績予想に変更ありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	853,102	2,681,712
受取手形及び売掛金	2,303,929	2,198,743
有価証券	1,300,000	300,000
商品及び製品	244,228	254,783
仕掛品	45,917	45,791
原材料及び貯蔵品	68,257	65,430
その他	127,336	135,267
流動資産合計	4,942,771	5,681,728
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,482,298	1,444,000
機械及び装置(純額)	287,931	214,314
土地	1,616,618	1,616,618
建設仮勘定	1,533,242	2,955,938
その他(純額)	123,775	117,855
有形固定資産合計	5,043,866	6,348,727
無形固定資産	113,235	113,325
投資その他の資産		
投資有価証券	797,773	791,756
その他	120,646	123,357
投資その他の資産合計	918,419	915,114
固定資産合計	6,075,522	7,377,167
資産合計	11,018,294	13,058,895

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,003,555	926,088
1年内返済予定の長期借入金	—	288,000
未払金	627,317	618,479
未払法人税等	218,093	174,452
賞与引当金	64,279	86,458
その他	90,008	54,500
流動負債合計	2,003,254	2,147,979
固定負債		
長期借入金	—	1,688,000
繰延税金負債	110,045	106,682
退職給付引当金	131,515	136,623
役員退職慰労引当金	39,182	42,826
資産除去債務	7,777	7,777
その他	24,885	21,288
固定負債合計	313,407	2,003,197
負債合計	2,316,662	4,151,176
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,989,630	1,989,630
資本剰余金	1,989,711	1,989,711
利益剰余金	4,454,533	4,661,817
自己株式	△32,515	△32,515
株主資本合計	8,401,358	8,608,643
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	300,273	299,075
評価・換算差額等合計	300,273	299,075
純資産合計	8,701,632	8,907,718
負債純資産合計	11,018,294	13,058,895

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	3,909,607	3,868,315
売上原価	2,434,549	2,445,103
売上総利益	1,475,057	1,423,212
販売費及び一般管理費	919,292	962,981
営業利益	555,764	460,231
営業外収益		
受取利息	356	136
受取配当金	7,631	8,090
助成金収入	120	4,000
その他	4,828	7,618
営業外収益合計	12,936	19,845
営業外費用		
支払利息	—	392
保険解約損	907	—
その他	94	72
営業外費用合計	1,002	465
経常利益	567,699	479,611
特別損失		
固定資産除却損	61	533
投資有価証券評価損	61,757	6,354
特別損失合計	61,819	6,887
税引前四半期純利益	505,879	472,724
法人税、住民税及び事業税	176,228	153,635
法人税等調整額	3,388	△2,843
法人税等合計	179,616	150,791
四半期純利益	326,262	321,932

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりました販売促進費の一部を、売上高から控除しております。当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前年四半期及び前事業年度については遡及適用後の四半期財務諸表及び財務諸表となっております。ただし、収益認識会計基準第85項に定める以下の方法を適用しております。

- ・前事業年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約について、比較情報を遡及的に修正しないこと

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期累計期間の売上高は754百万円減少し、販売費及び一般管理費は754百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に変更はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

当社は食品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 3. 補足情報

販売品目別販売実績

(単位：千円、単位未満切捨)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
棒ラーメン	1,380,084	35.3	1,331,274	34.4	△48,810	△3.5
皿うどん	1,184,234	30.3	1,127,224	29.1	△57,009	△4.8
カップめん	1,156,545	29.6	1,165,368	30.1	8,823	0.8
袋めん	170,810	4.4	222,767	5.8	51,957	30.4
その他	17,932	0.4	21,680	0.6	3,747	20.9
合計	3,909,607	100.0	3,868,315	100.0	△41,291	△1.1

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、前第2四半期累計期間に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。